

7月20日(水) 19時～21時

オンライン開催

無料

定員 100名 事前申込・先着順

話題提供

熱田 敬子氏 (早稲田大学 総合人文科学研究センター/ふえみ・ゼミ)

権威主義国家とフェミニズム

—ポストコロニアルな弾圧・検閲と創造的な闘い

梁・永山聡子氏 (成城大学 グローカル研究センター/ふえみ・ゼミ)

韓国社会におけるフェミニズムの意味とは？

—大衆化と法制化の狭間で

本年出版の『ハッシュタグだけじゃ始まらない—東アジアのフェミニズム・ムーブメント』(熱田敬子、金美珍、梁・永山聡子、張瑋容・曹曉彤編、大月書店)では、中国、韓国、香港、台湾の植民地化・侵略された経験とその後の民主化運動を背景に、現在の社会変革に挑むフェミニストたちの論考を紹介している。

今回の報告では、本書編集の基盤になった、编者たちのフィールドワーク、研究、運動の経験を紹介しつつ、日本でジェンダー、フェミニズムに関する研究と運動を行う上で、東アジアの同時代の経験から何を学ぶことができるかを考える。

参加希望者は otazune@rchr.osaka-cu.ac.jp に前日正午までにご連絡ください。

折り返し参加に必要な情報をお知らせします。

お問い合わせはセンターまで **06-6605-2035**